

アコモード

タイムズ

第49号

編集・発行

社会福祉法人 アコモード

- 特別養護老人ホーム アコモード
- アコモード指定居宅介護支援事業所
- アコモードヘルパーステーション
- ティサービスセンター アコモード
- グループホーム アンダンテⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アザレアⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アヴァンセⅠ・Ⅱ
- ケアホーム アメリアⅠ・Ⅱ
- 特別養護老人ホーム アクワイール
- ティサービスセンター アクワイール
- キッズルーム アクワイール
- キッズルーム アコモード
- アンジェリカ保育園
- 我孫子市老人福祉センターつつじ荘
- 我孫子市布佐・新木地区地域包括支援センター
- 我孫子市我孫子南地区地域包括支援センター
- アコモード相談支援事業所

千葉県我孫子市布佐1559-2
Tel.04(7189)5201・Fax.04(7189)5203

今思うこと

特別養護老人ホームアコモード
施設長 海老原 勤

一昨年より世界中で猛攻を振るう新型コロナウイルス感染症が、残念ながら私たちの施設にも忍び寄ってきてしまいました。

特養入居者様、デイ利用者様はもとよりご家族の皆様にもご迷惑とご心配をおかけしたことを心よりお詫び申し上げます。

目に見えぬウイルスとの戦いは福祉施設の私たちにとって、未知の世界への挑戦でもありました。

「ガウンテクニック」や「ゾーニング」職員の中にも初めて聞く言葉であったものも多数ありました。県庁高齢者福祉課様や感染管理の専門看護師の皆様、松戸保健所の皆様、多くの皆様の献身的なご指導により三月をもって収束に至ることができました。症状の悪化により入院治療を余儀なくされた入居者の皆様、ホテルでの隔離治療を行った職員、多くの人々が苦しい時期を過ごしました。私自身は感染することはありません。

せんでしたが、救急車を要請し遠方の病院に搬送される入居者様や疲弊する職員を目的の当たりにして「恐怖」を感じ悪夢なら早く覚めてほしいと思いつつも収束に向けて一心不乱に駆け抜けた時間でもありました。

五月末ようやく、法人内施設の入居者様への二度のワクチン接種がすみました。しかし、日々発表される感染者数を見ますと、まだまだ油断するわけにはいきません。手洗いの消毒の徹底を再確認し、直接面会の中止継続や職員のプライベート時間における行動自粛など継続すべき事は厳守してまいります。

特に、長く続く直接面会の中止については入居者様、ご家族様双方にとって大変つらく寂しいことと、職員一同も皆様と同様に切ない思いに駆られております。重大化のリスクの大きい入居者の皆様に対し、感染の機会を減らすための措置であることを改めて入居者様、ご家族様に対しお知らせしお願い申し上げます。

この文章が皆様の目に留まるのは、きっと東京オリンピックの開催予定の時期でしょうか。オリン

ピックが無事に開催され、ワクチンが多くの国民にいきわたり、感染者数が激減し、少しずつ元の生活が取り戻せるようになっていくことを望むものです。

いつの日か、多くのご家族の皆様が入居者様のもとを訪ねて来てくださる日を日本中の介護施設の職員は夢を見ております。

終わりに、特別養護老人ホームアコモードは、六月一日に創設二十五周年を迎えました。ベッド数五〇床、利用定員一五名のデイサービス、在宅介護支援センターの三事業でスタートをきりました。二五年の間、施設を取り巻く環境、かわってくださった多くの人々、当時とは大きく変わりました。過去にも（コロナとは別の）感染症に悩まされたこともありましたが、様々なことを乗り越えて施設は倍以上の規模に大きくなり職員数もおおきく増加しました。これからも時間と共に変化があるのでしょうか。

法人名の由来の通り「居心地のいい」ところだけは変わらぬようにこれからも力を合わせ頑張る所存です。これからもよろしく願います。

ハロウィンで仮装。



アコモード 特養

桜が綺麗だね。

お屠蘇を一杯。

おみくじで
いいのが
でたよ。

神社でお参り♪

*** 運動会 ***

毎年十月、二日間にわたりデイサービスで運動会を開催しております。
「楽しく・熱く・安全に」競技に参加出来るよう、感染症予防なども考慮した環境と競技内容を考え、皆さんに参加して頂いています。
ハチマキを締め、競技に参加する選手は真剣勝負、応援合戦もかなりの盛り上がりです。職員も紅白に分かれ、利用者様の方々と一緒に優勝トロフィーを目指します。



*** 体操の時間 ***

デイサービスでは毎日三十分程の「ちょっと体操の時間」という体操の時間を設けています。
「自分の足で歩いてほしい、歩きたい」という希望がご家族様や利用者様からの希望で一番多かったので、下肢筋力に特化したプログラムを理学療法士の方と作成しました。
普段、あまりお話をしない離れたテーブルの方や、新しく来られた方などの交流の場としても皆様にとっても好評です。いろいろな方と楽しく交流しながらの運動なので続けられると喜ばれています。

**デイサービスセンター
アコモード**

アクイール 特養

餅つき

十二月二十八日の午前中に、アクイールでは

欠かせない行事の一つとなっている、餅つき大会を行いました。

大きな石臼で、合計十五キロのお餅を四回に分けてつくりました。利用者様から「よいしょ、よいしょ」と元氣な掛け声のパワーを頂いたおかげで、職員は腕がパンパンになりながらも無事につき終わり、立派な鏡餅をつくることができました。

途中、利用者様にも餅つきに参加していただくのも通例です。足腰が不自由で車椅子に乗っている方には、両腕を使って思う存分杵を打ち下ろして残存機能を生かしていただきました。

人と人との繋がりが感じられにくくなっているこんな時ですが、決して一人ではできない餅つきで連帯感が高まり、楽しさを分かち合つことができたと思います。



デイサービスセンター アクイール

「アクイールファーム」

デイサービスセンターアクイールでは裏の敷地にある畑を使用して利用者様と農作業を始めました。農家だった利用者様に土の耕し方、肥料の与え方、苗の植え方を教えてもらい、ほうれん草、人参、ジャガイモ、里芋、さつまいも、トマト、キュウリ、トウモロコシ、大葉、茗荷の苗を植えました。

季節を感じて頂き久しぶりの土いじりに利用者様もイキキと夢中になり楽しんで作業されています。農作業初心者の方の職員に色々な知識を教えて下さりとても勉強になりました。汗をかきながら草取りをし、利用者様、職員共に一生懸命野菜を育てて収穫するのを楽しみにしています。

先日、収穫したホウレン草はその日のうちに茹でて昼食のお味増しの具として頂きました。自分達で育てた野菜は新鮮でとても美味しいと評判でした。

今後収穫した野菜を使い、カレーや豚汁、焼き芋など作って食べる楽しみを感じて頂きたいと企画しています。



口身体拘束・虐待防止勉強会

法人では、職員が守るべき信条・約束(クレド)があり、その中の一つには「私たちは職員は利用者の権利を尊重し、生活の質の向上に努めるサービスを提供いたします」と記されています。身体拘束・虐待に値する行為は、その方の尊厳・権利を踏みにじることに他ならない為、各事業所は定期的に研修・勉強会を行うことで身体拘束・虐待に関する理解を深め、適切なサービスを模索しながら、日々実践しています。

特養アクイールの勉強会は、あらかじめ用意した事例をもとに、数人のグループに分かれて「何が問題なのか」「問題の発生した理由は」「問題を改善するにはどうすればいいか」等話を合せて決める「グループワーク」形式で開催。複数人で話し合うことで様々な思考方法や解決策が引き出されました。



アヴァンセ・アザレア

新玉ねぎ収穫 & 調理!

新型コロナウイルス感染症が世界で猛威を振るい、ケアホームでの生活も一変しました。行事やイベント、交流会なども出来ません。何か楽しめることはないか?

職員一同で意見を出し合い、ケアホーム

アヴァンセの近くに畑があり、毎年サツマイモを

植えていることを思い出し季節で色々収穫できると良いよね!と、今年の新玉ねぎに初挑戦!

畑といっても、何でも育つわけではなく「育つもの・育たないもの」があるそうです。畑の土にも相性があるみたいですね。玉ねぎは冬の霜に弱いので、大きく育ってくれるのか心配でしたが今年の冬はわりと暖かかったのか、霜に負けず大きく育ってくれました!

密にならないよう、三名の利用者様と玉ねぎ収穫にレッツゴー!

収穫時期がくると玉ねぎは「もう良いよ!」と茎の部分を折り曲げ知らせてくれます。サインが来た玉ねぎを収穫し、調理も利用者様と一緒に

一回目はオニオンスライスと味噌汁に。二回目に収穫した玉ねぎは干し海老と一緒にかき揚げにして美味しくいただきました!

感染症予防に努めながらも、利用者様に飽きの来ない毎日を、そして早く元の日常生活に戻ることを願いながら職員一同奮闘します!



アンダンテ



令和二年十二月二十日

に開催したクリスマス会では、利用者様と職員がクリスマスにちなんだ歌を一緒に唄い、楽しい時間を過ごしました。ささやかではありますが、プレゼントを受け取り、美味しいケーキも頂きました。

日常生活の中では、楽しいひと時を過ごしていただけなような新たなレクリエ

ーションを考案し提供しています。写真は、スライドゲーム、紙コップ倒し、カルタ取り、脳トレに取り組む様子を撮影したものです。高得点を導き出して喜ぶ方、なかなか点数が取れずに悔しがる方、他の利用者様に「頑張れ」と声をかける方、真剣な表情で塗り絵や脳トレに取り組む姿やカルタ取りで和気あいあいとした様子が見られます。利用者様のさまざまな表情を垣間見ることで、職員も嬉しい気持ちになり、やりがいを見い出すことが出来ます。今後も利用者様に楽しい時間を提供出来るよう努力して参ります。

一日でも早く穏やかな日常生活が戻ってくることを職員一同願っています。



アンジェリカ

「仲良し交流」

保育園には、その年の年長児がグループごとと他のクラスのお手伝いをする「仲良し交流」という行事があります。

小さい子のお世話や保育士のお手伝いをしながら、かつて自分が生活していた保育室を懐かしむとともに、担任以外の保育士ともじっくり関われる機会にもなります。

保育士達は小さかった頃の子ども達を思い出し、感動の場面です。

小さいお友達も：「お兄さんたちすごい

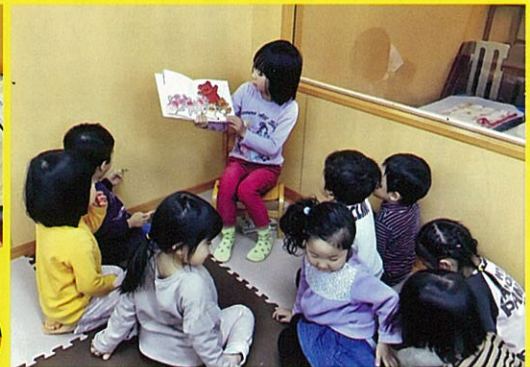


ね！」「お姉さん優しいんだよ」と、年長さんが来てくれる事を楽しみにしています。この活動を通してお兄さん・お姉さんに憧れをいだく子がたくさんいます。

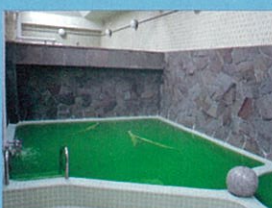
お互いに刺激しあい、みんなで大きくなっていきます。

保育園では、「仲良し交流」だけでなく異年齢での活動を大切にしています。

「学ぶ」ことは「まねる」事と言えます。たくさん年代の子と関わりながら成長したいって欲しいですね。



つつじ荘



五月六日～九日まで菖蒲・ヨモギのミックス湯を用意しました。香りが良くて気持ちよかったよ～と感想を頂いています。

これからも、楽しく過ごせるつつじ荘を目指し、環境整備と定時清掃や消毒作業を怠らず、感染防止や拡大阻止のため、職員一同努力をして参ります。

また、月一度の開催を目指しています。グランドゴルフについても、バスを利用

しての団体予約を五月から徐々に再開したばかりです。

感染症に対する取り組みを行い、けん玉教室は、月に一度の開催を目指しています。



つつじ荘では、今年も昨年に引き続き、感染症に警戒し、部分的に制限を設けながら開館しています。一年以上のあいた休止となっていたけん玉教室を四月二十三日(金)に再開しました。約十三名の参加があり、二名の講師とマスク越しでも笑顔を交わしながら過ごせたようでした。白熱のあまり人との距離が心配でしたが、参加の皆様は、マスクに消毒、ディスタンスへの配慮も感じられました。

布佐・新木地区

高齢者なんでも相談室

「退院後の

自宅の環境について」

高齢になり、介護が必要となる原因の多くは脳の病気や骨折、関節の病気などです。

入院して手術や治療が行われた後、自宅に帰ることになりますが、在宅時ほど身体機能が回復せず、不自由になってしまう場合もあります。

手すりや段差解消などのバリアフリーの改修を行う場合、介護認定を受けている方は、介護保険を利用して二十万円までの工事負担を一〜三割負担で行うことができます。

通常、入院時は介護保険を利用できませんが、自宅に戻ってからの改修では生活が間に合わないため、こういった場合は、入院時から介護保険での改修を行うことが可能となっています。

保険対象で改修を行う場合は、市に事前申請の必要がありますので、高齢者なんでも相談室に相談してください。



障害者まちかど相談室

まちかど相談室では障害者

お持ちの方の様々なご相談に

応じています。コロナ禍によって

不安を抱える方も多い印象があります。

障害者差別禁止法が施行されて十年近くが経ちますが、千葉県ではその先駆けとして「障害のある人もない人も共に暮らしやすい千葉県づくり条例」が制定されています。この条例の趣旨はすべての人が暮らしやすい県であることを目指すというものです。コロナ禍によって、何となく世の中全体の寛容さが少し削られてしまっている印象のある状況ですが、こんな時だからこそ自分にも周りにもだれもが少しずつ優しさや思いやりの気持ちを持ちたいですね。先日ラジオを聞いていた時に、パーソナリティの男性が「こんな時代なのでキツイ言い方はしないように気をつけている」と話していました。自分もそうありたいなあと思った出来事でした。

障害や障害者という言葉は、ともすると自分とは遠い次元の話の思われがちですが視力の低下に対して眼鏡やコンタクトレンズを使うように、その方の困った：に対して寄り添いながら、障害があってもなくても幸せに地域生活が営めるように支援を続けたいと思っています。



知っておきたい食中毒予防の三原則

「つけない」洗う分ける

食中毒の原因菌やウイルスを食べ物につけない様、こまめに手を洗いましょう。

「増やさない」低温で保存する

肉や魚、野菜などの生鮮食品は購入後、速やかに冷蔵庫に入れます。

「やつつける」加熱・殺菌処理

殆どの細菌やウイルスは加熱によって死滅するので、しっかりと加熱して食べましょう。

★家庭で食中毒を防ぐ

六つのポイント★

「買い物」生鮮食品を買う順番は最後にする。

「家庭での保存」帰宅後速やかに冷蔵庫、冷凍庫に保存する。

「下準備」調理前に石けんで丁寧に手を洗う。肉、魚、卵を触ったら手を洗う。

「調理」調理の前に手を洗う。肉や魚は中心部を七十五度で一分間以上加熱する。

「食事」食べる前に石けんで手を洗う。清潔な食器を使い、作った料理は室温に放置せず、すぐに食べるか冷蔵庫に保存する。

「残った食品」残った食品を扱う前に手を洗ってから、清潔な容器に保存する。

★食品の工夫でできる食中毒対策★

ワサビやシヨウガ、ミヨウガと言った薬味野菜の辛味成分や、ネギやニンニク、玉ねぎに含まれる硫化アリルには殺菌作用があります。また腸内細菌のバランスを保つことで、細菌やウイルスから体を守る免疫細胞の活動が高まります。

嘔吐や下痢など、食中毒と思われる症状が見られたら早めに受診しましょう。



編集後記



年々、夏の暑さが増していくように感じます。天気も安定しない事があり、突然の雨や雷など以前と比べ増えているように思います。

自宅の庭先にサボテンを育てていますが、夏の暑さにも負けず少しずつ大きくなってきています。棘が力強く育っており、素手で触れることはできませんが、見た目とは違い、綺麗な花を咲かせてくれます。

サボテンの花言葉「温かい心」の様に内面(花)の優しさと共に力強さ(棘)を兼ね備えて生きていければと思っています。